

「週20時間未満の就労を希望する障害者に関する調査
～就労継続支援事業所における実態調査～」
アンケート調査結果に係る報告

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

障害者職業総合センター

○野澤 紀子・岩佐 美樹・内藤 眞紀子

研究計画

1 背景

- ・ 現行の障害者雇用率制度においては、週所定労働時間が20時間以上の雇用が算定対象となっている。
- ・ 令和2年度より、週10時間以上20時間未満で働く障害者を雇用する民間の事業主に対して、「特例給付金」が創設され、雇用率に算定されない障害者の雇用についても支援措置が講じられた。

2 目的

- ・ 週20時間未満で就労又は就労希望している障害者及び障害者を雇用又は雇用することを検討している企業のニーズや実態等を把握する。

3 方法

a. アンケート調査（就労継続支援事業所） 今回の報告内容

b. ヒアリング調査（就労継続支援事業所及び企業）

アンケート調査

- ・ 実施時期 令和2年11月～12月
- ・ 実施方法 障害福祉サービス等情報公表システムにおける都道府県等公表データ及び各自治体の公表データから取得した就労継続支援事業所14,882事業所に調査票を郵送。
（A型3,250事業所、B型11,632事業所）
- ・ 有効回答 7,447事業所（回収率51.2%）

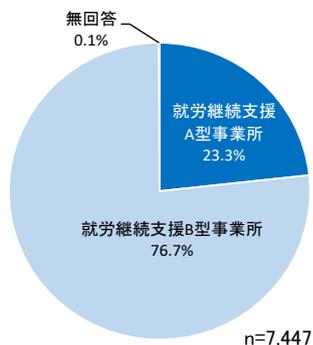
アンケート調査の項目

1. 事業所の属性
2. 利用者の状況（令和2年3月）
 - （1）実利用者数
 - （2）利用時間が週20時間未満の者の状況
 - （3）週20時間未満での就職を希望する者の状況
 - （4）職歴のある者のうち、週20時間以上の就労が離職の要因であった者の状況
3. 一般就労移行者の状況
 - （1）一般就労移行者数（平成29～令和元年度）
 - （2）労働時間を週20時間未満とする雇用契約を締結した者の状況

1. 事業所の属性

① 回答事業所（単一回答）

項目内容	回答数	割合(%)
就労継続支援A型事業所	1,734	23.3
就労継続支援B型事業所	5,709	76.7
無回答	4	0.1
計	7,447	100.0



② 事業の指定年月（数量回答）

(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
1年未満	4.8	5.9	0.0	5.7
1年以上2年未満	5.5	6.9	25.0	6.6
2年以上3年未満	8.9	7.5	0.0	7.8
3年以上5年未満	23.5	11.8	25.0	14.6
5年以上10年未満	46.2	36.1	0.0	38.4
10年以上	9.5	29.8	0.0	25.1
無回答	1.5	1.9	50.0	1.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和2年3月を基点として集計

③ 所在地（単一回答）

項目内容	回答数	割合(%)
北海道・東北	1,153	15.5
北関東・甲信越	712	9.6
南関東	1,026	13.8
東海・北陸	1,246	16.7
近畿	1,261	16.9
中国・四国	914	12.3
九州・沖縄	1,124	15.1
無回答	11	0.1
計	7,447	100.0

④ 回答者（単一回答）

項目内容	回答数	割合(%)
管理者	3,930	52.8
サービス管理責任者	2,086	28.0
その他	1,346	18.1
無回答	85	1.1
計	7,447	100.0

- 回答事業所は、7,447事業所であり、A型事業所が1,734事業所（23.3%）、B型事業所が5,709事業所（76.7%）であった。
- 事業の指定年月について数量回答を求め、令和2年3月を基点として集計したところ、A型事業所、B型事業所ともに「5年以上10年未満」が最も多かった。次いで、A型事業所は「3年以上5年未満」が多く、B型事業所は「10年以上」が多かった。

⑤ 経営主体（単一回答）

(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
都道府県・市町村・一部事務組合(公設公営)	0.2	0.4	0.0	0.3
都道府県・市町村・一部事務組合(公設民営)	0.1	0.8	0.0	0.6
社会福祉協議会	0.5	3.2	0.0	2.6
社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	16.8	45.2	25.0	38.6
医療法人	0.2	1.8	0.0	1.4
営利法人(株式・合名・合資・合同会社)	57.3	15.7	25.0	25.4
特定非営利活動法人(NPO)	14.9	27.2	0.0	24.4
その他の法人	9.4	5.6	25.0	6.5
無回答	0.5	0.1	25.0	0.2

⑥ 実施している事業（複数回答）

(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
就労移行支援	8.0	14.2	0.0	12.8
就労継続支援A型	100.0	5.9	75.0	27.9
就労継続支援B型	22.2	100.0	75.0	81.9
就労定着支援	4.6	5.7	0.0	5.4
生活介護	3.2	25.3	25.0	20.1
自立訓練(機能訓練)	0.1	0.3	0.0	0.2
自立訓練(生活訓練)	1.2	4.1	0.0	3.4
その他	6.1	10.6	0.0	9.5

- 経営主体は、「社会福祉法人」(38.6%)が最も多く、次いで「営利法人」(25.4%)、「特定非営利活動法人」(24.4%)であった。事業別に見ると、A型事業所は「営利法人」(57.3%)が最も多く、B型事業所は「社会福祉法人」(45.2%)が最も多かった。
- 回答事業の他に実施している事業としては、A型事業所は「就労継続支援B型」(22.2%)、B型事業所は「生活介護」(25.3%)が最も多かった。

2. 利用者の状況

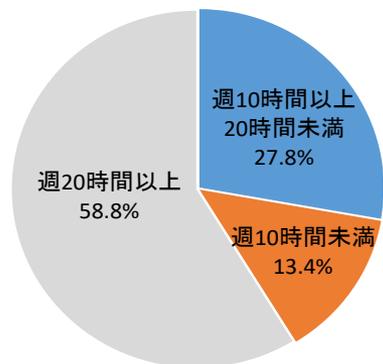
(1) 実利用者数

回答事業所 (n=7,239)		身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	全体
実利用者数(人)		16,472	76,885	48,804	5,011	1,712	784	149,668
週20時間以上	人数(人)	11,588	64,258	24,803	3,141	1,006	497	105,293
	割合(%)	(70.3)	(83.6)	(50.8)	(62.7)	(58.8)	(63.4)	(70.4)
週10時間以上 20時間未満	人数(人)	3,440	9,511	13,229	1,139	476	192	27,987
	割合(%)	(20.9)	(12.4)	(27.1)	(22.7)	(27.8)	(24.5)	(18.7)
週10時間未満	人数(人)	1,444	31,160	10,772	731	230	95	16,388
	割合(%)	(8.8)	(4.1)	(22.1)	(14.6)	(13.4)	(12.1)	(10.9)

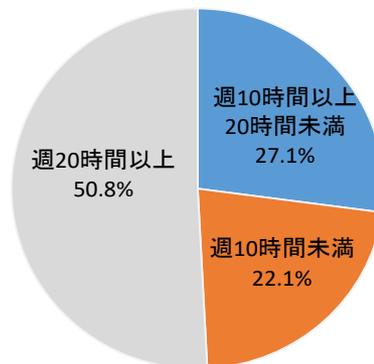
(数量回答)



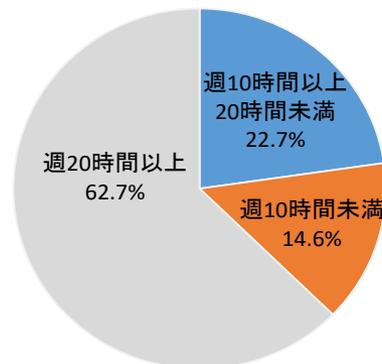
高次脳機能障害 (n=1,712、1,058事業所)



精神障害 (n=48,804、5,541事業所)



発達障害 (n=5,011、1,857事業所)



- 実利用者数の回答があった7,239事業所における令和2年3月の実利用者数は、「知的障害」が76,885人(約5割)、「精神障害」が48,804人(約3割)であり、知的障害と精神障害で全体の約8割を占めていた。
- 障害別に利用時間の割合を見てみると、「週20時間以上」の利用者の割合は、「知的障害」(83.6%)、「身体障害」(70.3%)が多く、「週10時間以上20時間未満」については、「高次脳機能障害」(27.8%)、「精神障害」(27.1%)が多く、「週10時間未満」については、「精神障害」(22.1%)、「発達障害」(14.6%)が多いという結果であった。

(2) 利用時間が週20時間未満の者の状況 ※一事業所5事例まで回答

(単一回答)

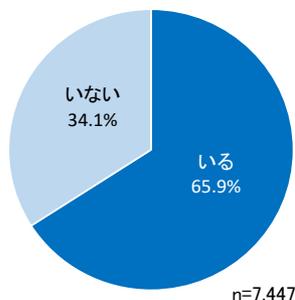
(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
いる	38.1	74.3	75.0	65.9
いない	61.9	25.7	25.0	34.1



「いる」と回答した事業所数と回答事例数

項目内容	事業所数	事例数
A型事業所(n=1734)	661	1,861
B型事業所(n=5709)	4,244	14,068
事業所無回答(n=4)	3	11
全事業所(n=7447)	4,908	15,940



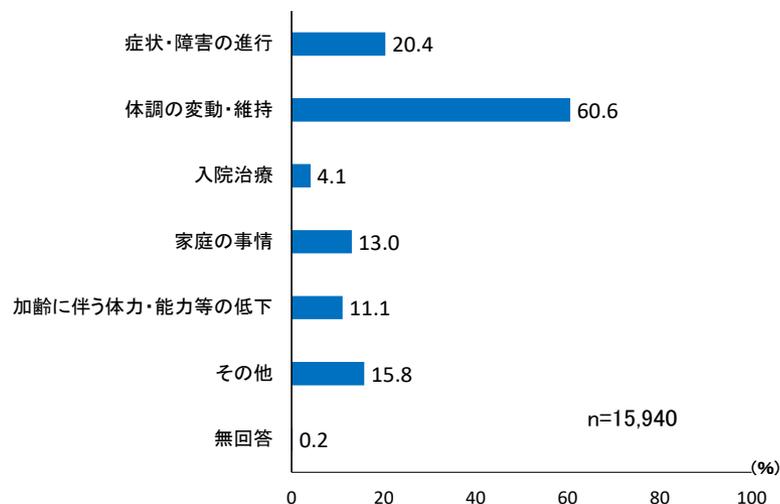
- 令和2年3月の利用者のうち、利用時間が週20時間未満の者がいる事業所の割合は、65.9% (A型事業所38.1%、B型事業所74.3%)であった。
- 利用時間が週20時間未満の者が「いる」と回答した事業所は4,908事業所あり、15,940事例の回答が得られた。
- 利用時間が週20時間未満の理由として、最も多かったのは、「体調の変動・維持」(60.6%)であり、次いで「症状・障害の進行」(20.4%)であった。

※事例は5人までとの上限を設定したため、実際には5事例以上ある事業所もあり得る。

利用時間が週20時間未満の理由(複数回答)

(%)

項目内容	A型事業所 (n=1861)	B型事業所 (n=14068)	事業所 無回答 (n=11)	全事業所 (n=15940)
症状・障害の進行	25.6	19.7	9.1	20.4
体調の変動・維持	67.3	59.7	90.9	60.6
入院治療	6.8	3.7	0.0	4.1
家庭の事情	10.4	13.4	18.2	13.0
加齢に伴う体力・能力等の低下	5.5	11.8	9.1	11.1
その他	8.7	16.8	0.0	15.8
無回答	0.3	0.2	0.0	0.2



利用時間が週20時間未満の理由×障害

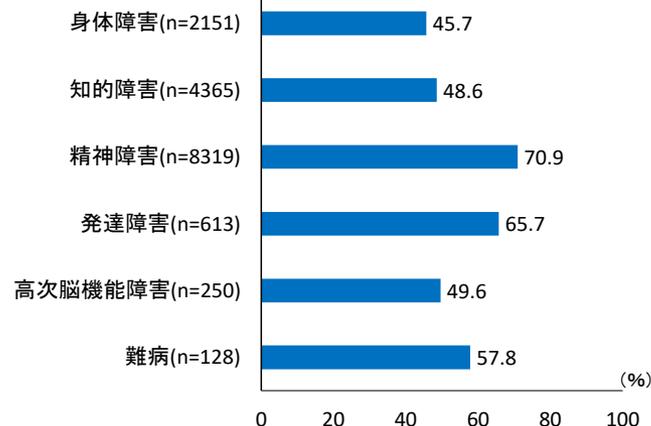
(%)

項目内容	身体障害 (n=2151)	知的障害 (n=4365)	精神障害 (n=8319)	発達障害 (n=613)	高次脳 機能障害 (n=250)	難病 (n=128)
症状・障害の進行	22.7	11.8	24.1	19.7	22.0	34.4
体調の変動・維持	45.7	48.6	70.9	65.7	49.6	57.8
入院治療	4.9	3.3	4.4	1.6	2.4	5.5
家庭の事情	15.2	17.9	10.1	11.7	13.6	12.5
加齢に伴う体力・能力等の低下	17.1	10.2	10.3	3.1	21.2	10.9
その他	21.9	25.9	8.5	19.2	21.2	12.5
無回答	0.2	0.4	0.1	0.2	0.4	0.0

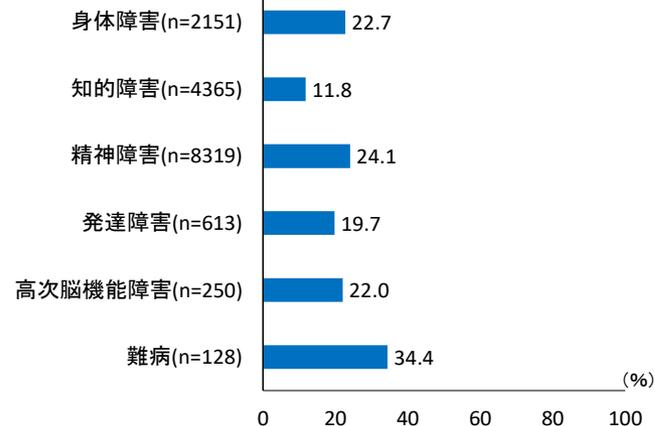
障害無回答を除く15,826事例

割合が最も多い
 割合が2番目に多い

体調の変動・維持



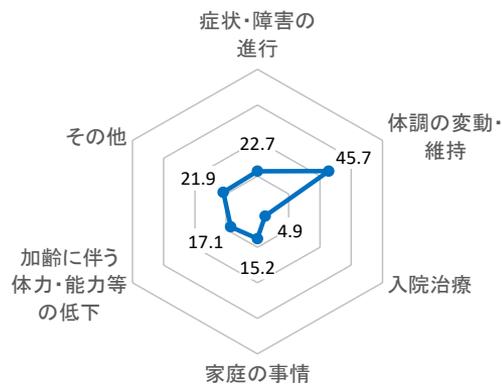
症状・障害の進行



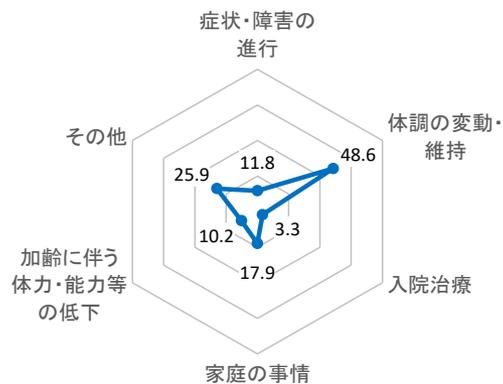
- 利用時間が週20時間未満の利用者(障害無回答を除く15,826事例)について障害別に理由を見ると、すべての障害で「体調の変動・維持」の割合が最も多く、なかでも「精神障害」、「発達障害」の選択割合が多かった。
- 「知的障害」は、「体調の変動・維持」(48.6%)に次いで、「その他」(25.9%)の選択割合が多かったが、その内容としては「他の事業やサービスを受けている」等の記述が見られた(現在分類中)。

障害別（利用時間が週20時間未満の理由）

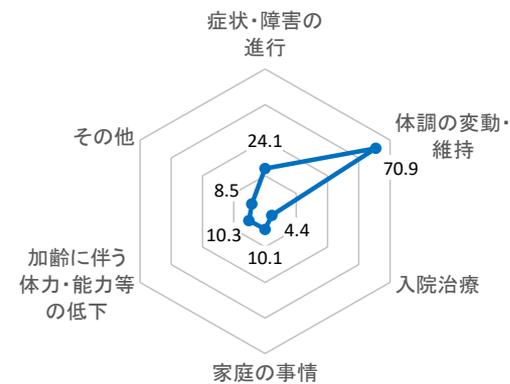
身体障害(n=2151)



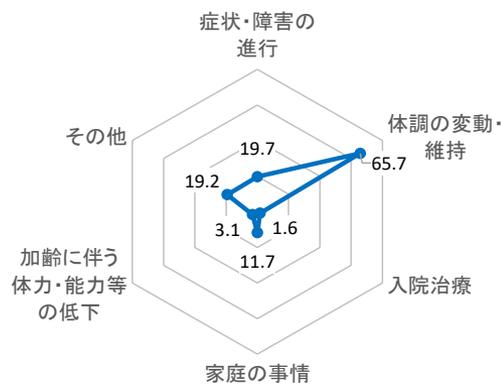
知的障害(n=4365)



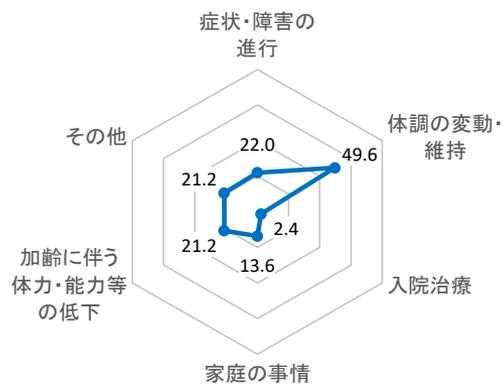
精神障害(n=8319)



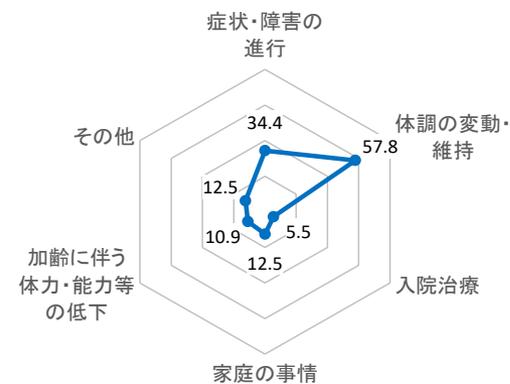
発達障害(n=613)



高次脳機能障害(n=250)



難病(n=128)



(3) 週20時間未満での就職を希望する者の状況

※一事業所5事例まで回答

(単一回答)

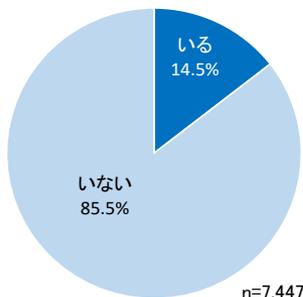
(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
いる	8.7	16.2	25.0	14.5
いない	91.3	83.8	75.0	85.5



「いる」と回答した事業所数と回答事例数

項目内容	事業所数	事例数
A型事業所(n=1734)	150	300
B型事業所(n=5709)	927	2,242
事業所無回答(n=4)	1	4
全事業所(n=7447)	1,078	2,546



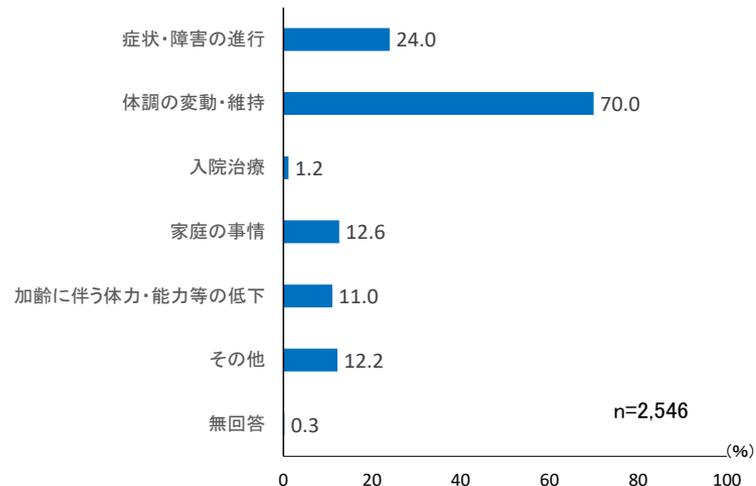
- 令和2年3月の利用者のうち、週20時間未満での就職を希望する者がいる事業所の割合は、14.5%(A型事業所8.7%、B型事業所16.2%)であった。
- 週20時間未満での就職を希望する者が「いる」と回答した事業所は1,078事業所あり、2,546事例の回答が得られた。
- 週20時間未満での就職を希望する理由として最も多かったのは、「体調の変動・維持」(69.9%)であり、次いで「症状・障害の進行」(24.0%)であった。

※事例は5人までとの上限を設定したため、実際には5事例以上ある事業所もあり得る。

週20時間未満での就職を希望する理由(複数回答)

(%)

項目内容	A型事業所 (n=300)	B型事業所 (n=2242)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=2546)
症状・障害の進行	24.3	24.0	0.0	24.0
体調の変動・維持	63.0	70.9	100.0	70.0
入院治療	2.3	1.0	0.0	1.2
家庭の事情	17.3	12.0	25.0	12.6
加齢に伴う体力・能力等の低下	12.0	10.9	25.0	11.0
その他	9.3	12.6	0.0	12.2
無回答	0.7	0.2	0.0	0.3



週20時間未満での就職を希望する理由×障害

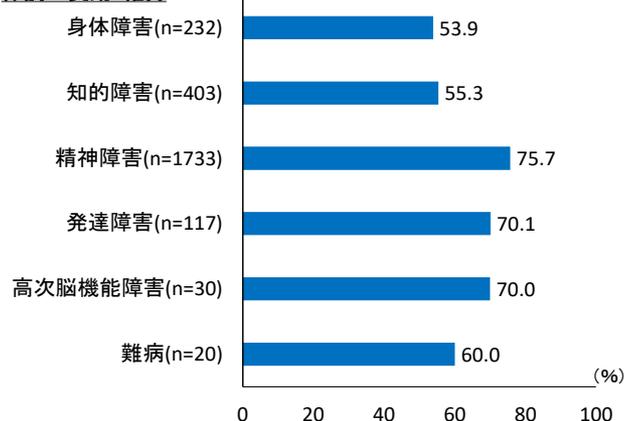
(%)

項目内容	身体障害 (n=232)	知的障害 (n=403)	精神障害 (n=1733)	発達障害 (n=117)	高次脳 機能障害 (n=30)	難病 (n=20)
症状・障害の進行	28.0	18.9	24.8	20.5	26.7	30.0
体調の変動・維持	53.9	55.3	75.7	70.1	70.0	60.0
入院治療	0.4	0.7	1.4	0.0	0.0	5.0
家庭の事情	13.8	16.1	11.8	11.1	10.0	10.0
加齢に伴う体力・能力等の低下	15.5	13.4	10.4	2.6	20.0	5.0
その他	19.8	24.6	7.9	17.9	16.7	15.0
無回答	0.9	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0

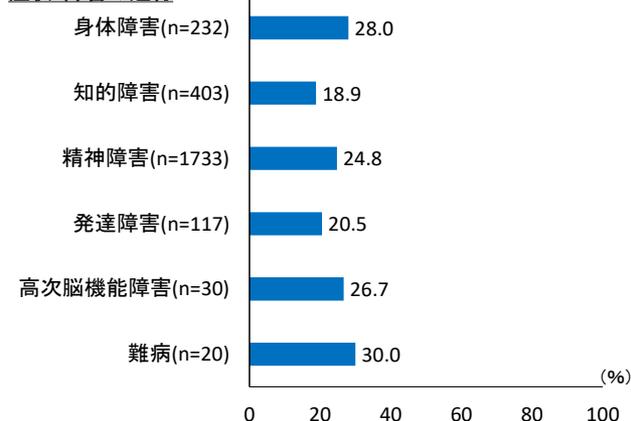
障害無回答を除く2,535事例

割合が最も多い
 割合が2番目に多い

体調の変動・維持



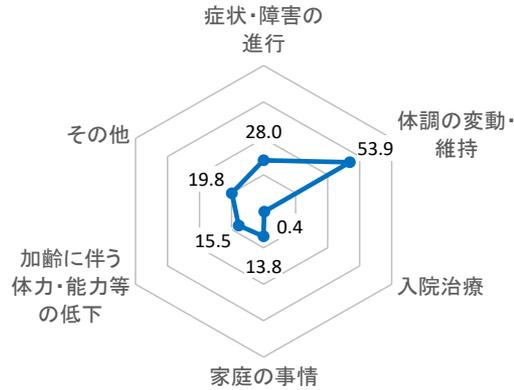
症状・障害の進行



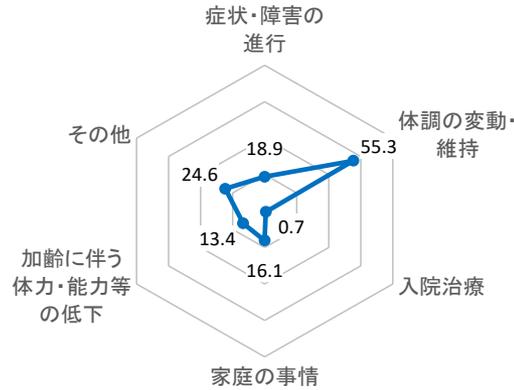
- 週20時間未満での就職を希望する利用者(障害無回答を除く2,535事例)について障害別に理由を見てみると、すべての障害で「体調の変動・維持」の割合が最も多く、なかでも「精神障害」、「発達障害」、「高次脳機能障害」の選択割合が多かった。
- 「知的障害」は、「体調の変動・維持」(55.3%)に次いで、「その他」(24.6%)の選択割合が多かったが、その内容としては「生活のため」、「収入を得るため」等の記述が見られた(現在分類中)。

障害別（週20時間未満での就職を希望する理由）

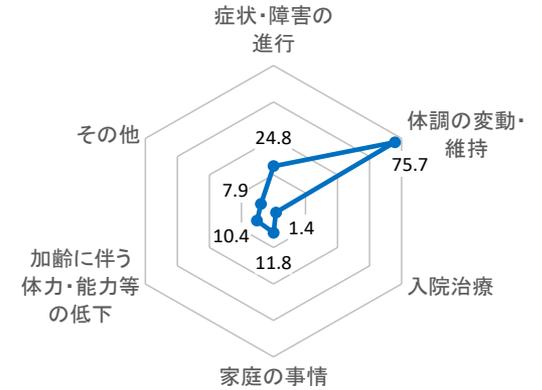
身体障害(n=232)



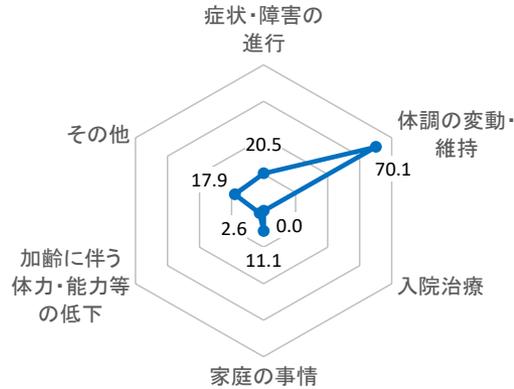
知的障害(n=403)



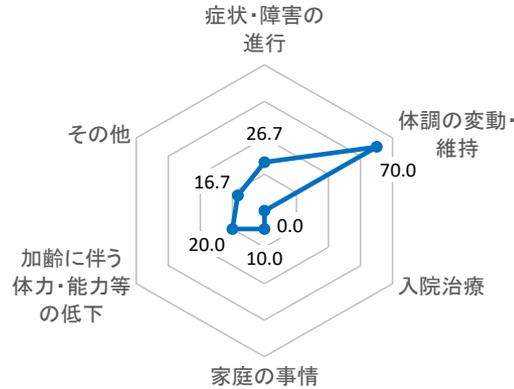
精神障害(n=1733)



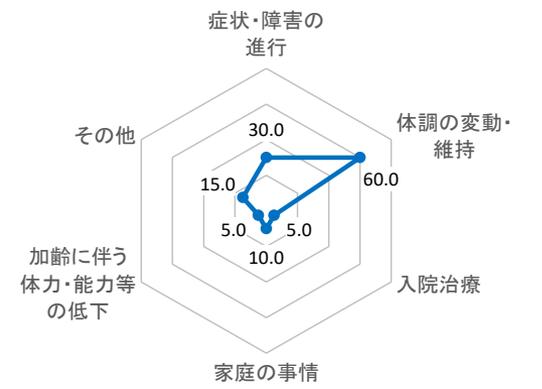
発達障害(n=117)



高次脳機能障害(n=30)



難病(n=20)



(4) 職歴のある者のうち、週20時間以上の就労が離職の要因であった者の状況 ※一事業所5事例まで回答

(単一回答)

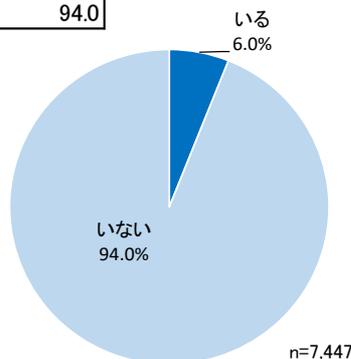
(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
いる	5.9	6.0	50.0	6.0
いない	94.1	94.0	50.0	94.0



「いる」と回答した事業所数と回答事例数

項目内容	事業所数	事例数
A型事業所(n=1734)	103	192
B型事業所(n=5709)	345	831
事業所無回答(n=4)	2	8
全事業所(n=7447)	450	1031



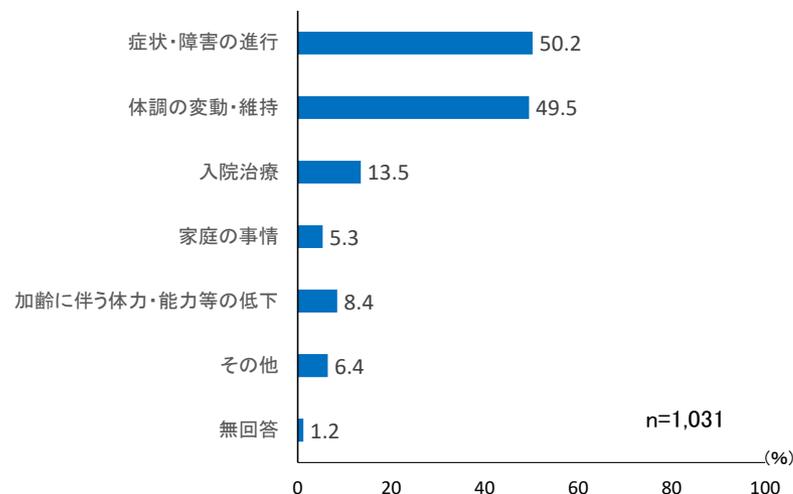
- 令和2年3月の利用者(職歴のある者)のうち、週20時間以上の就労が離職の要因であった者がいる事業所の割合は、6.0%であった(A型事業所5.9%、B型事業所6.0%)。
- 週20時間以上の働き方が離職の要因であった者が「いる」と回答した事業所は450事業所あり、1,031事例の回答が得られた。
- 離職理由として多かったのは、「症状・障害の進行」(50.0%)、「体調の変動・維持」(49.2%)であった。

※事例は5人までとの上限を設定したため、実際には5事例以上ある事業所もあり得る。

離職理由(複数回答)

(%)

項目内容	A型事業所 (n=192)	B型事業所 (n=831)	事業所 無回答 (n=8)	全事業所 (n=1031)
症状・障害の進行	48.4	50.7	50.0	50.2
体調の変動・維持	50.5	49.0	75.0	49.5
入院治療	10.4	14.3	0.0	13.5
家庭の事情	6.8	4.8	25.0	5.3
加齢に伴う体力・能力等の低下	9.9	8.2	0.0	8.4
その他	6.3	6.5	0.0	6.4
無回答	2.1	1.0	0.0	1.2



離職理由×障害

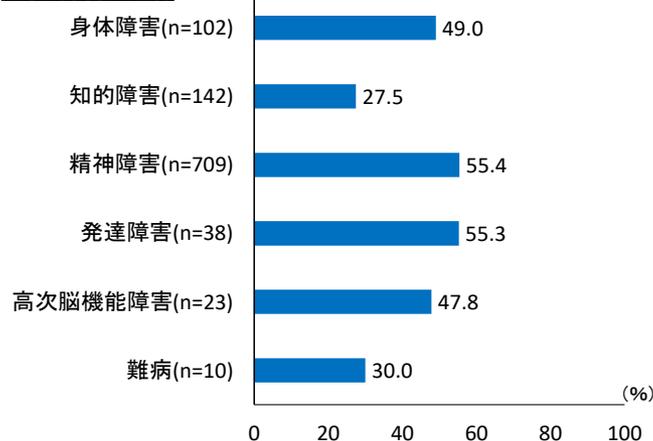
(%)

項目内容	身体障害 (n=102)	知的障害 (n=142)	精神障害 (n=709)	発達障害 (n=38)	高次脳 機能障害 (n=23)	難病 (n=10)
症状・障害の進行	49.0	27.5	55.4	55.3	47.8	30.0
体調の変動・維持	28.4	43.7	52.9	52.6	56.5	70.0
入院治療	13.7	4.2	14.8	0.0	39.1	20.0
家庭の事情	2.9	5.6	6.2	0.0	0.0	0.0
加齢に伴う体力・能力等の低下	18.6	15.5	6.2	0.0	8.7	0.0
その他	7.8	21.1	2.3	15.8	17.4	0.0
無回答	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	10.0

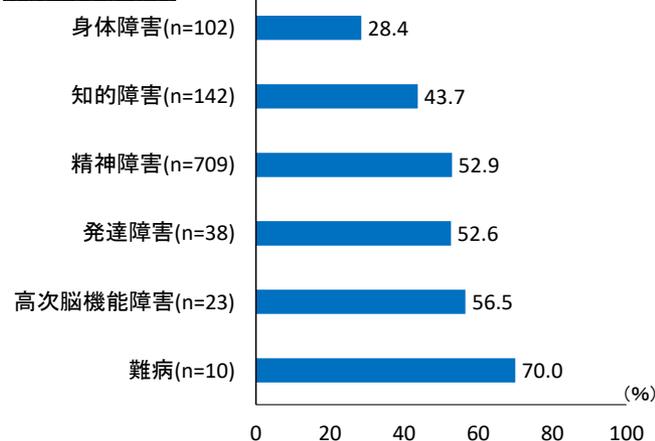
障害無回答を除く1,024事例

割合が最も多い
 割合が2番目に多い

症状・障害の進行



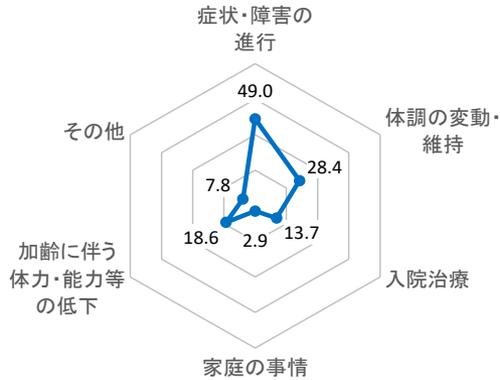
体調の変動・維持



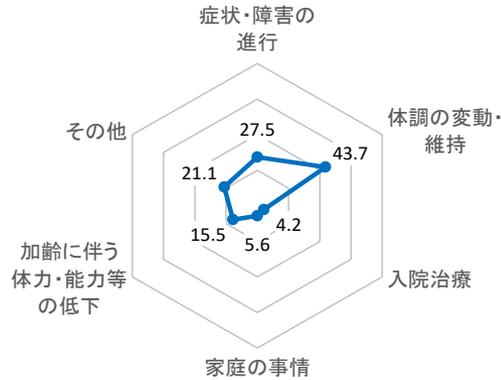
- 離職理由を障害別に見てみると、すべての障害において「症状・障害の進行」と「体調の変動・維持」が選択割合の多い上位2項目であったが、「精神障害」、「発達障害」については、当該2項目とも選択率が50%を超えていた。
- 「高次脳機能障害」、「難病」については、「入院治療」を理由として週20時間以上の労働が難しくなった者もいることが窺えた。

障害別（離職理由）

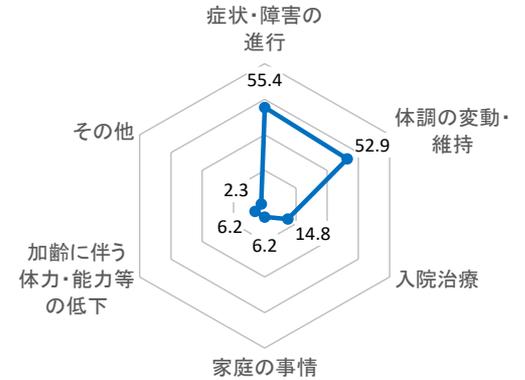
身体障害(n=102)



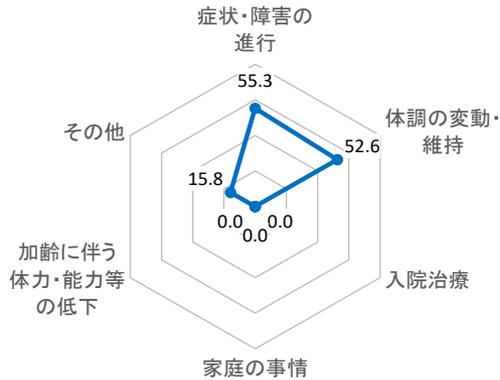
知的障害(n=142)



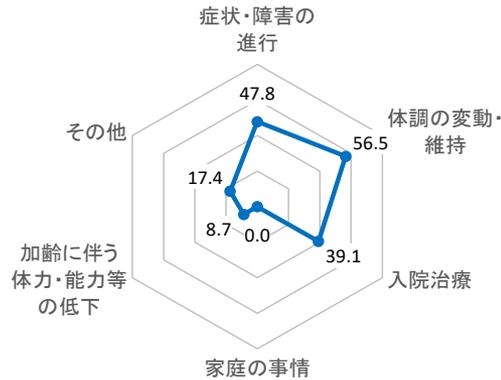
精神障害(n=709)



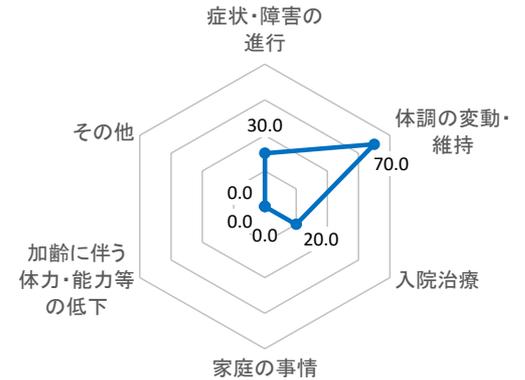
発達障害(n=38)



高次脳機能障害(n=23)



難病(n=10)



3. 一般就労移行者の状況

(1) 一般就労移行者数（平成29～令和元年度）

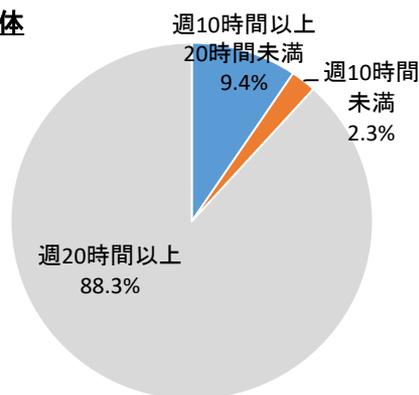
(数量回答)

(%)

回答事業所(n=2,935)		身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	合計
一般就労移行者数(人)		870	2,678	4,556	417	95	72	8,688
週20時間以上	人数(人)	794	2,474	3,877	387	74	64	7,670
	割合(%)	(91.3)	(92.4)	(85.1)	(92.8)	(77.9)	(88.9)	(88.3)
週10時間以上 20時間未満	人数(人)	57	168	550	25	14	7	821
	割合(%)	(6.6)	(6.3)	(12.1)	(6.0)	(14.7)	(9.7)	(9.4)
週10時間未満	人数(人)	19	36	129	5	7	1	197
	割合(%)	(2.2)	(1.3)	(2.8)	(1.2)	(7.4)	(1.4)	(2.3)

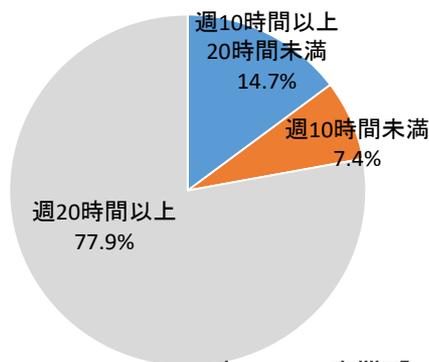
割合が最も多い
 割合が2番目に多い

全体



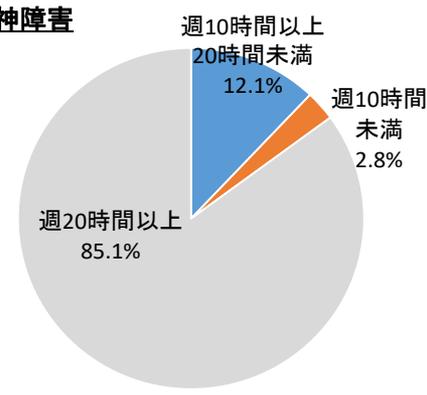
(n=8,688, 2,935事業所)

高次脳機能障害



(n=95, 78事業所)

精神障害



(n=4,556, 1,920事業所)

- 一般就労移行者数の回答があった2,935事業所における平成29年度～令和元年度の一般就労移行者数は、「精神障害」が4,556人(52.4%)、「知的障害」が2,678人(30.8%)であり、全体の8割以上を占めていた。
- 一般就労移行者のうち、「週10時間以上20時間未満」での雇用契約は821人(9.4%)、「週10時間未満」での雇用契約は197人(2.3%)であった。
- 障害別に雇用契約時の労働時間の割合を見てみると、「週20時間以上」での雇用契約は「発達障害」(92.8%)、「知的障害」(92.4%)が多く、「週10時間以上20時間未満」と「週10時間未満」はいずれも「高次脳機能障害」(14.7%,12.1%)、「精神障害」(7.4%,2.8%)が多かった。

(2) 労働時間を週20時間未満とする雇用契約を締結した者の状況 ※一事業所5事例まで回答

(単一回答)

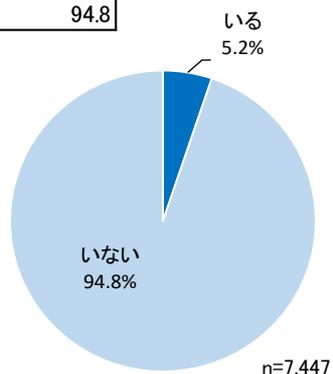
(%)

項目内容	A型事業所 (n=1734)	B型事業所 (n=5709)	事業所 無回答 (n=4)	全事業所 (n=7447)
いる	2.4	6.0	0.0	5.2
いない	97.6	94.0	100.0	94.8



「いる」と回答した事業所数と回答事例数

項目内容	事業所数	事例数
A型事業所(n=1734)	41	57
B型事業所(n=5709)	345	486
事業所無回答(n=4)	0	0
全事業所(n=7447)	386	543



- スライド17の一般就労移行者のうち、雇用契約時に労働時間が20時間未満である者がいる事業所の割合は、5.2%(A型事業所2.4%、B型事業所6.0%)であった。
- 雇用契約時に労働時間が週20時間未満である者が「いる」と回答した事業所は386事業所あり、543事例の回答が得られた。
- 週20時間未満の理由として最も多かったのは、「体調の変動・維持」(62.8%)であり、次いで「その他」(25.0%)であった。

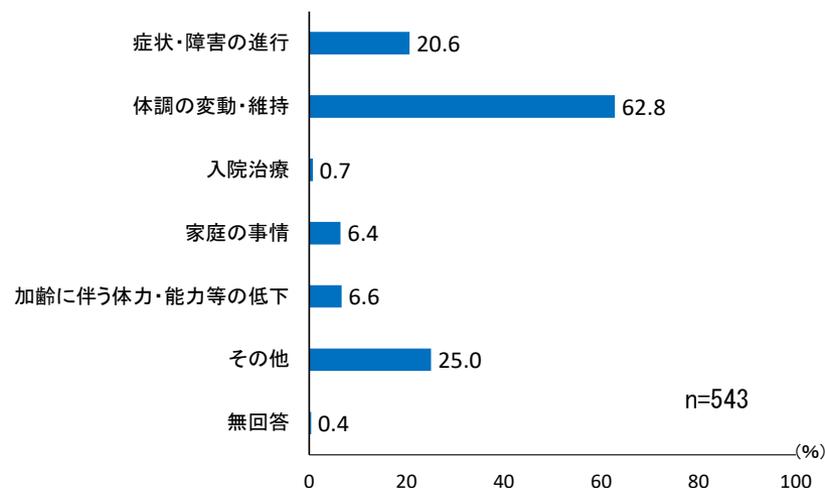
※事例は5人までとの上限を設定したため、実際には5事例以上ある事業所もあり得る。

週20時間未満の理由(複数回答)

(%)

項目内容	A型事業所 (n=57)	B型事業所 (n=486)	全事業所 (n=543)
症状・障害の進行	22.8	20.4	20.6
体調の変動・維持	70.2	61.9	62.8
入院治療	0.0	0.8	0.7
家庭の事情	12.3	5.8	6.4
加齢に伴う体力・能力等の低下	12.3	6.0	6.6
その他	10.5	26.7	25.0
無回答	0.0	0.4	0.4

「その他」の内容は、雇用形態(求人内容、会社の都合など)等についての記述が見られた(現在分類中)。



雇用契約時に週20時間未満である理由×障害

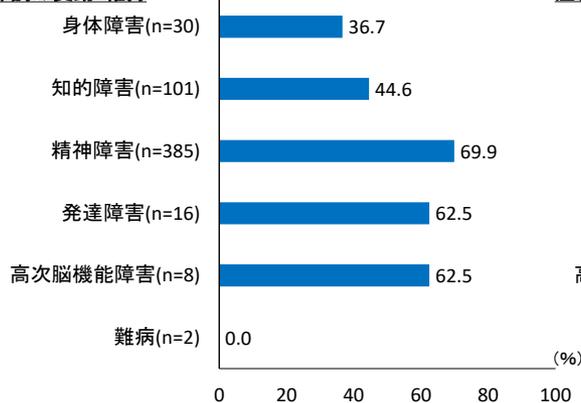
(%)

項目内容	身体障害 (n=30)	知的障害 (n=101)	精神障害 (n=385)	発達障害 (n=16)	高次脳 機能障害 (n=8)	難病(n=2)
症状・障害の進行	50.0	10.9	20.5	25.0	12.5	100.0
体調の変動・維持	36.7	44.6	69.9	62.5	62.5	0.0
入院治療	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
家庭の事情	10.0	5.0	6.8	6.3	0.0	0.0
加齢に伴う体力・能力等の低下	20.0	2.0	6.5	0.0	37.5	0.0
その他	13.3	47.5	20.3	25.0	25.0	0.0
無回答	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0

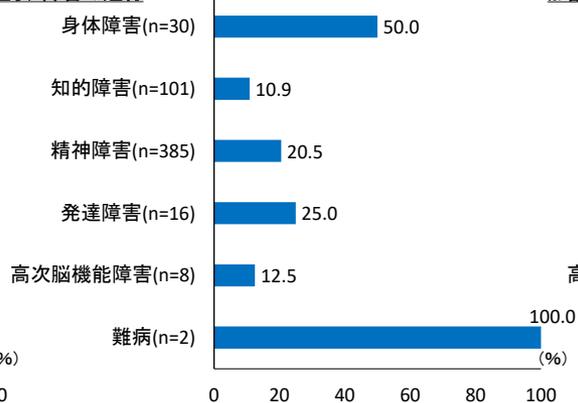
障害無回答を除く524事例

割合が最も多い
 割合が2番目に多い

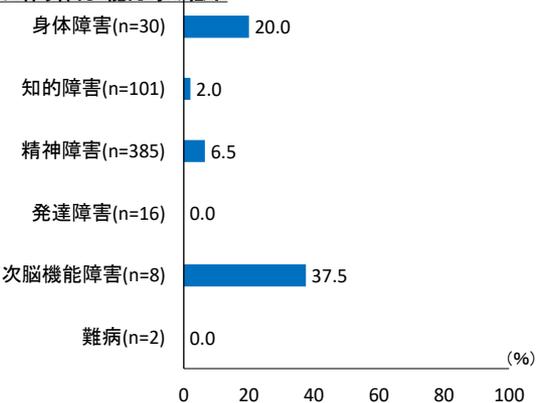
体調の変動・維持



症状・障害の進行



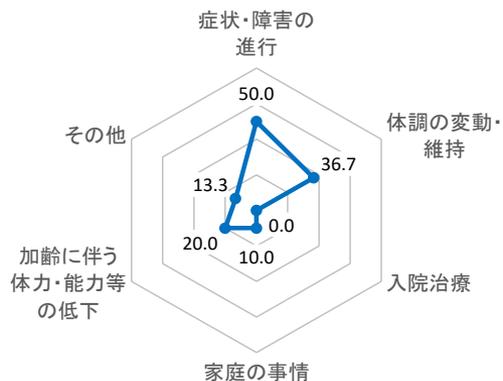
加齢に伴う体力・能力等の低下



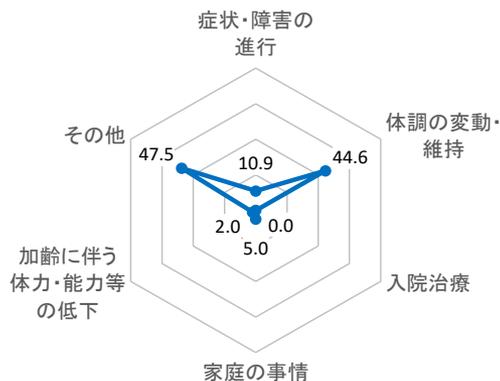
- 一般就労移行者のうち雇用契約時に週20時間未満である524事例のうち、「精神障害」が385事例と最も多く、その理由は「体調の変動・維持」(69.9%)が最も多く選択された。
- 一般就労移行者のうち雇用契約時に週20時間未満である524事例のうち、「知的障害」(101事例)の理由として「その他」が最も多く選択されたが、その内容には求人内容、会社の都合、慣れるため等の記述が見られた(現在分類中)。

障害別（雇用契約時に週20時間未満である理由）

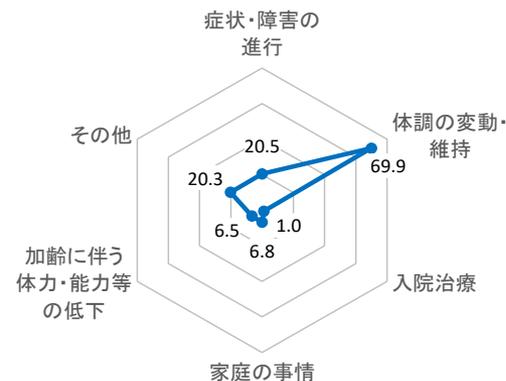
身体障害(n=30)



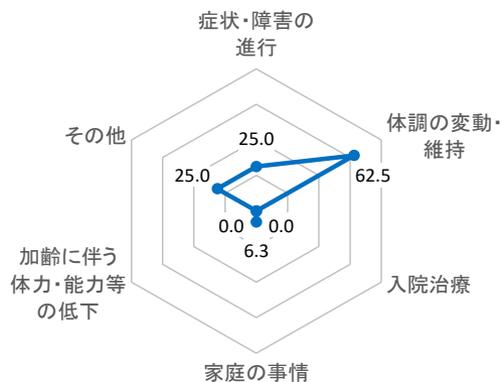
知的障害(n=101)



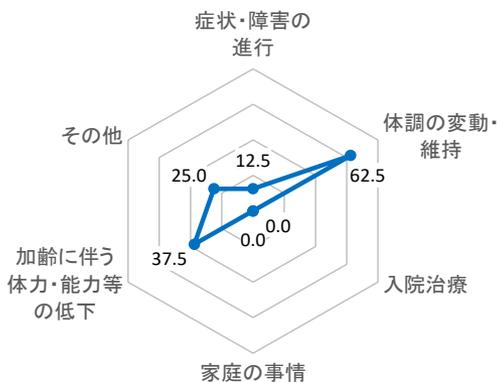
精神障害(n=385)



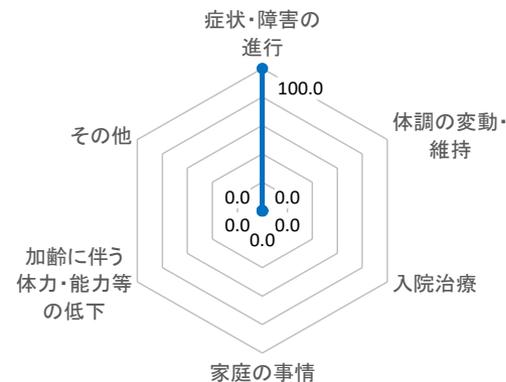
発達障害(n=16)



高次脳機能障害(n=8)



難病(n=2)



- 障害者就労継続支援事業所の利用者の中には、週20時間未満での就職を希望する者が一定存在し、その理由として、「体調の変動・維持」が理由である者が多い。特に精神障害者を中心にそのニーズが確認できる。

(スライド11,12)

- 障害者就労継続支援事業所から一般就労へ移行した者のうち、労働時間を週20時間未満とする雇用契約を締結した者は、「体調の変動・維持」が理由である者が多く、特に精神障害者の約7割は「体調の変動・維持」を理由としている。

(スライド18,19)

- なお、職歴のある者のうち、週20時間以上の就労が離職の要因であった者の具体的理由は、すべての障害において「症状・障害の進行」と「体調の変動・維持」が多い。

(スライド15)

✓ 障害者就労継続支援事業所の利用者や一般就労移行者（特に精神障害者）の中には、週20時間未満での働き方を認めるなどの配慮がなされることにより、体調や症状の安定を図りながら働くことが可能な者もいると考えられる。